

第 1 日 目 6 月 18 日（土）

受付開始 9：30 中ホールロビー  
開会挨拶 10：00 - 10：15 中ホール  
《午前》

	研究発表Ⅰ（10:30 - 12:30）	
	会場：E-205 「劇 場」 司会 法月敏彦	会場：E-207 「海外の演劇手法」 司会 市川 明
10:30-11:10	上演空間の拡張 ―R・シェクナー「環境演劇」を中心に 江口正登（東京大学大学院生）	アンドレア・ダンバーの遺産 ― underclass の 現前（プレゼンス）と verbatim theatre の技法 ― 大西洋一（秋田大学教育文化学部）
11:10-11:50	再生される「劇場」 齋藤理恵（早稲田大学大学院生）	ニードカンパニーの悲劇の三部作における 「不在」の演劇美学 平田栄一朗（慶應義塾大学文学部）
11:50-12:30	地域劇場を運営するアート NPO のための 人材育成 五島朋子（鳥取大学地域学部付属芸術文化センター）	

昼休み 12：30 - 13：30

《午後》

13:30-15:00	会場：中ホール 講演 「劇場と社会の今 ～ 地震、雷、火事、親父 ～ 」 佐伯隆幸（演劇評論家）	
	研究発表Ⅱ（15:15 - 17:15）	
	会場：E-205 「伝 統 芸 能」 司会 伊藤真紀	会場：E-207 「日本、アジアの特定の劇場状況」 司会 小菅隼人
15:15-15:55	鴻池幸武の文楽評 ― その立ち位置を探る 多田英俊（京都府立嵯峨野高等学校）	「府民館」を通じてみる演劇の大衆化 ～ 1930 年代の「劇芸術研究会」を中心に ～ 李知映（東京大学大学院生）
15:55-16:35	天正狂言本の劇構造 長島平洋（会友）	中高齢観客を呼び戻す劇場 李恵貞（韓国中央大学校公演映像学部）
16:35-17:15	十三代目守田勘弥と武者小路実篤戯曲 ― 文芸座公演を中心に 岡本光代（明治大学大学院生）	地域文化拠点としての公民館 ― 沖縄市泡瀬 公民館の舞台と京太郎芸 浅香怜子（民俗芸能研究者）

17：30～懇親会（学生食堂）

第 2 日 目 6 月 19 日（日）

受付開始 9：30 中ホールロビー

《午前》

	研究発表Ⅲ（10:00 - 12:30）	
	会場：中ホール 「劇場と社会」 司会 林 公子	会場：E-207 「特定の日本の劇場状況」 司会 扇田昭彦
10:00-10:40	向社会的存在としての劇場 上田淳子（日本大学芸術学部演劇学科）	公共劇場が地域社会に果たす役割とは何か ― 神奈川芸術劇場の取り組みを通して 宮津大蔵（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）
10:40-11:20	劇場に見る『組踊の系譜』―朝薫の組踊五番 の舞台から近代沖縄芝居の劇場、そして現在へ 与那覇晶子（琉球大学大学院生）	大阪演劇祭が行われて、そして消えた助成制 度と場所、＜大阪市立芸術創造館＞の変遷 菊川徳之助（演出家）
11:20-12:30	デモンストレーション発表 メタファーとしての「劇場」から見つめる 人生と社会 ～ドラマセラピーの一手法を使って～ 尾上明代（立命館大学大学院）	デモンストレーション発表 ピッコロシアターの歩みと可能性 本田千恵子（兵庫県立ピッコロ劇団）

昼休み（理事会 西棟 2 階第 3 会議室）12：30 - 13：30

《午後》

13:30-15:00	総会 河竹賞授賞式（記念レクチャー） 「不条理劇の方法論」小田中章浩 「大衆芸能から見える国民的なもの――アメリカ」楠原（斎藤） 偕子 会場：中ホール
15:15-16:45	講演「劇場と労働」眞野 純（神奈川芸術劇場・神奈川県民ホール館長） 会場：中ホール
17:00-17:30	上演「3.11 をめぐって」 （日本大学大学院生・日本大学芸術学部生） 会場：中ホール
17:30～	閉会挨拶 会場：中ホール

＊17 日（金）19 時～ 会場：中ホールロビー

前夜祭集会「天災、人災による東日本大被害に対し、演劇研究・教育者は何ができるか、すべきか」毛利三彌、他